

／ 本日は ／

日本画日和

夏めく

春うらら



常設展 32 期

令和 8 年 3 月 1 日 (日) — 9 月 13 日 (日)

会期は臨時に変更する場合があります

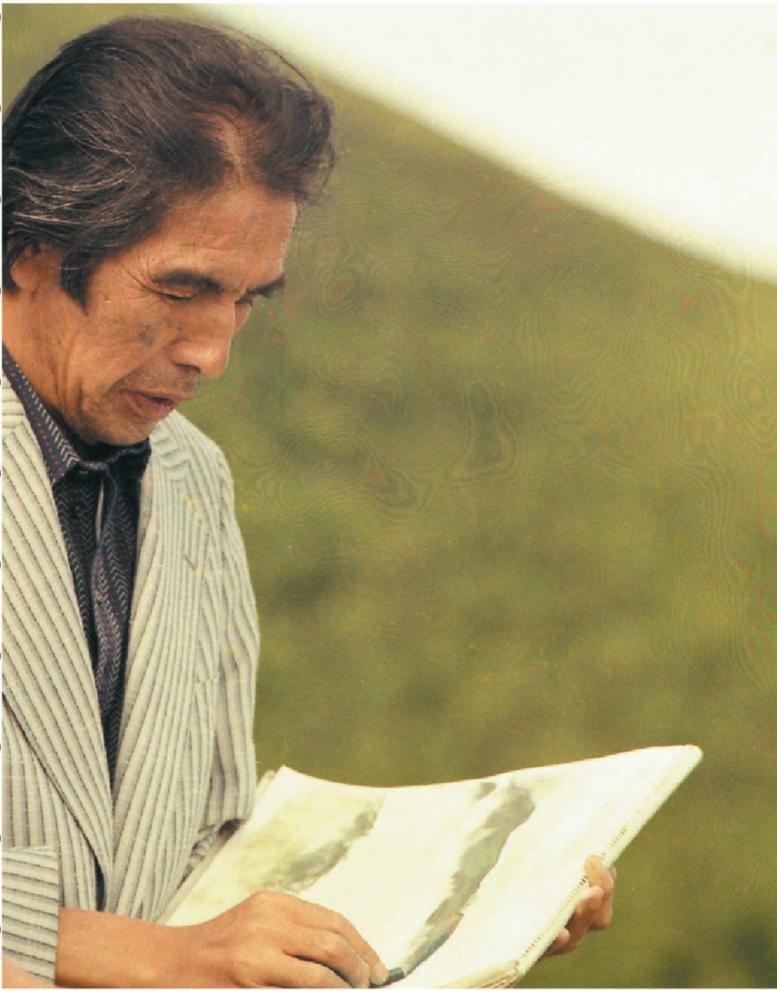
開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時 入館は午後 4 時 30 分まで

休館日 毎週月曜日 祝日の場合は翌平日

観覧料 一般 410(310)円 高校生以下 210(150)円

( )は 20 名以上の団体料金 / 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は無料

大山忠作 美術館

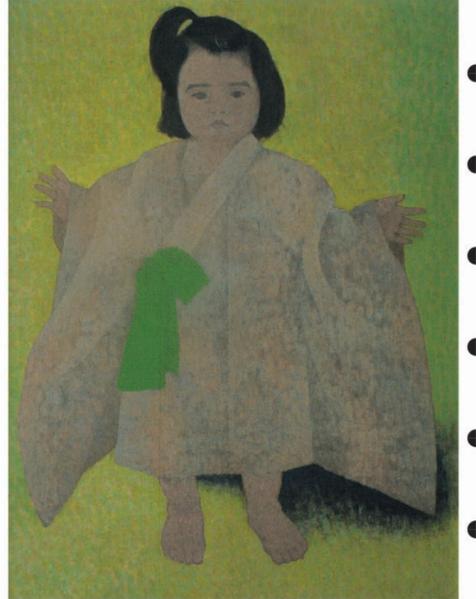


おおよま ちゅうさく oyama chusaku  
**大山忠作** 1922 - 2009

- 1922年 5月5日二本松市根崎に出生
- 1943年 学徒出陣のため、東京美術学校  
 (現東京芸術大学)日本画科線上海卒業
- 1946年 台湾から復員後、第2回日展に《O先生》  
 を出品し初入選、以来連続入選
- 1947年 一采社へ参加
- 1952年 第8回日展《池畔に立つ》で初特選
- 1968年 第11回日展《岡潔先生像》で  
 文部大臣賞受賞
- 1973年 第4回日展出品作《五百羅漢》で  
 第29回日本芸術院賞受賞
- 1980年 成田山新勝寺光輪閣襖絵  
 第1期「日月春秋」28面完成
- 1986年 日本芸術院会員就任
- 1987年 二本松市名誉市民に推戴
- 1992年 成田山新勝寺聖徳太子堂壁画  
 「白鷺・蓮・桜・牡丹・菊・楓」16面完成
- 2005年 日展会長就任
- 2006年 文化勲章受章



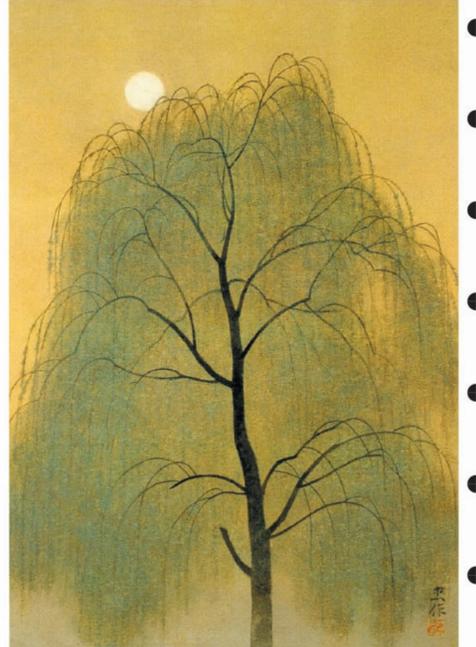
1.



2.



3.



4.

〈常設展 32期〉 — 本日は日本画日和 —

「いつも自然体でいること。そして描きたいものを描く。描きたいように描く。題材にはこだわらない。そのときのわたしの心の赴くままに描いてきた。」と語り、「流水画家」とも称された大山忠作。「低きに流れる自然な水の流れこそわたしの作風」とし、題材は多岐にわたります。なかでも四季の移ろう姿に細やかに寄り添い描かれた作品には、大山自身がこう述べるように「その時々わたしの心のありようが鮮やかに映っている」本展では、画中に匂う画家の心のありようを春夏の薫りとともにお楽しみください。さあ本日は日本画日和とまいりましょう。

〈特集展示〉 — 傘寿の招福扇面画 —

当館はLED改修工事のため長期休館をいただいておりますが、令和8年3月1日より再開館いたします。新たな出発に際し、第二展示室では大山が傘寿(80歳)の祝い年を記念し制作した扇面画を中心に展示いたします。また、大山家特別協力のもと、大山家所蔵の写生等も初公開。この機会にぜひご観覧いただけますと幸いです。

# 大山忠作 美術館



交通案内

J R 東北本線：二本松駅下車…徒歩3分  
 福島交通バス：二本松駅前下車…徒歩3分  
 東北自動車道：二本松I.C.より5分

駐車場

二本松市市民交流センター  
 北側の立体駐車場をご利用いただけます  
 (施設開館時間内に入場の場合1時間無料 / 以降1時間100円)

〒964-0917  
 福島県二本松市本町二丁目3番地1  
 二本松市市民交流センター 3F  
<http://www.nihonmatsu-ed.jp/oyama/>  
 TEL 0243-24-1217 FAX 0243-24-1218

- 1. 《荷花》1991年
- 2. 《童女》1959年
- 3. 《花現》1988年
- 4. 《日春(春昼)》1992年